

1 少年犯罪の現状について

(1) 少年非行の現状

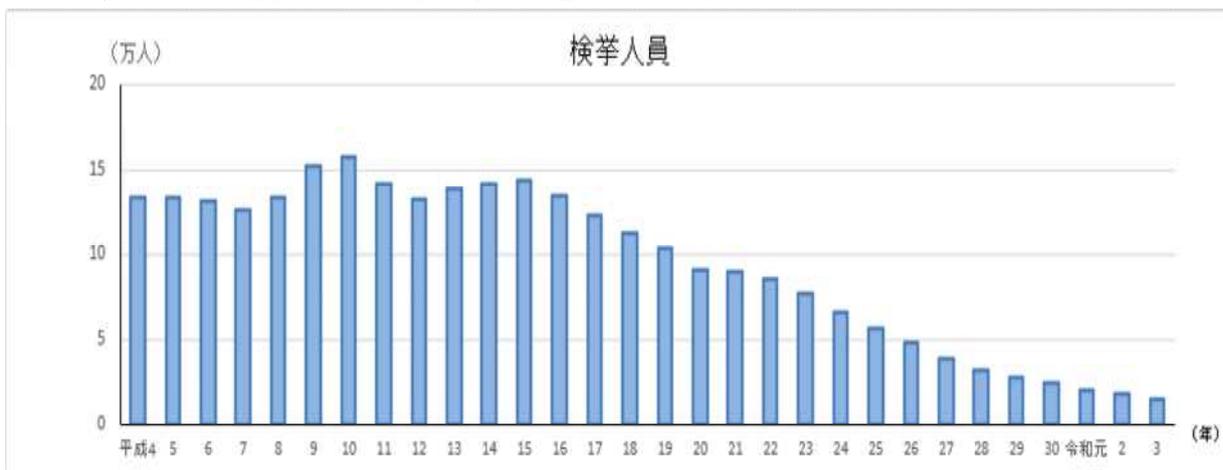
「警察庁Webサイト<https://www.npa.go.jp/hakusyo/r04/honbun/html/y2243000.html> 第2章 生活安全の確保と犯罪捜査活動/3 少年非行防止に向けた取組/ (1) 少年非行の現状/① 少年非行情勢」、警察庁生活安全局人身安全・少年課「令和4年における少年非行及び子供の性被害の状況」 (<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/pdf-r4-syonenhikoujyokyo.pdf>) より抜粋・加工

1) 少年非行情勢

令和3年中の刑法犯少年の検挙人員は1万4,818人と、前年より2,648人(15.2%)減少し、18年連続の減少となった。しかし、同年齢層の人口1,000人当たりの検挙人員は2.2人で成人(1.5人)と比べ、引き続き高い水準にある。

触法少年(刑法)及び不良行為少年の補導人員は、いずれも減少傾向にあったが、令和3年中の触法少年(刑法)の補導人員は5,581人と、前年より495人(9.7%)増加した。

図表 刑法犯少年の検挙人員の推移(平成4年～令和3年)



年度	平成4	5	6	7	8	9	10	11
検挙人員	133,882	133,132	131,268	126,249	133,581	152,825	157,385	141,721
12	13	14	15	16	17	18	19	20
132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	103,224	90,966
21	22	23	24	25	26	27	28	29
90,282	85,846	77,696	65,448	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797
30	令和元	2	3					
23,489	19,914	17,466	14,818					